

3号機 炉心シュラウド溶接線洗浄用部品の原子炉内への落下について(続報)

平成 17 年 3 月 8 日

定期点検中の3号機(沸騰水型、定格電気出力110万kW)において、2月28日、炉心シュラウド等の溶接線の点検に際し、溶接線表面の付着物の除去作業を実施していたところ、洗浄装置の先端にある部品(洗浄ノズル:長さ約2.5cm、直径約1cmのステンレス製)が装置から外れ、原子炉内に落下しました。同日、落下した洗浄ノズルを回収しました。(平成17年2月28日お知らせ済み)

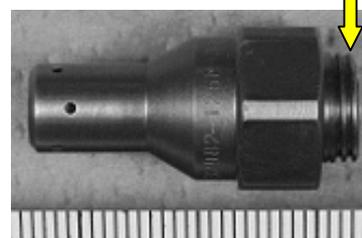
その後、回収した洗浄ノズルを調査したところ、洗浄ノズルはネジの付け根部付近で折れていることが分かりました。

原因は、当該ノズルを取り付ける際に過大な力で締め付けたことと推定されます。
新しいノズルを適切な力で締め付けた上で、付着物の除去作業を開始しました。

以上



健全な洗浄ノズル



折れた洗浄ノズル(回収済み)